

福知山市商工会 企業業況調査

令和5年7月調査結果(令和5年4月～6月分 調査対象 78件) (令和5年8月公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年	
		今回	前回	今回	前回	今回	前回
全体	78	32.7	37.8	36.2	37.2	36.5	40.7
地域別	三和	17	41.2	30.9	42.6	32.4	41.2
	夜久野	26	28.8	41.3	33.7	39.1	30.8
	大江	35	31.4	38.8	35	38.2	38.6
業種別	製造業	24	39.6	41.7	40.6	39.3	44.8
	建設業	21	35.7	39.3	40.5	36.9	35.7
	卸小売業	11	18.2	29.7	18.2	34.4	25.0
	サービス業	22	29.5	38.8	36.4	37.5	34.1

【景況感DIの算出方法】

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
(すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

全体の景況感DIは32.7と前回調査より5.1ポイントとマイナスとなった。地域別に見ると、三和が10.3ポイントと大幅なプラス、夜久野が12.5ポイントの大幅なマイナス、大江が7.4ポイントのマイナスと地域差が目立った。業種別に見ると、製造業が2.1ポイント、建設業が3.6ポイント、卸小売業が11.5ポイント、サービス業が9.3ポイントと全ての業種でマイナスとなった。

先行調査では、先行3ヶ月が36.2となり1.0ポイントのマイナス、先行1年が36.5となり4.2ポイントのマイナスとなった。業種別に見ると、先行3ヶ月では製造業と建設業でプラス、卸小売業とサービス業ではマイナス、先行1年では製造業のみプラスで、建設業、卸小売業、サービス業ではマイナスとなった。

新型コロナの5類感染症移行などを背景に、需要や人流回復が期待されるが、依然として続く物価上昇によるコスト上昇、人手不足による従業員の確保難や人件費の増加も懸念されており、この地域における小規模事業者を取り巻く環境は厳しく、持ち直しの動きは鈍い。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-33.3	-28.6	-15.6	-28.6
売上			-31.1	-11.9	-22.2	-26.2
仕入単価			-53.3	-76.2	-51.1	-59.5
従業員数			-11.1	-19.0	11.1	4.8
採算	-2.2	4.8	-24.4	-26.2	-20.0	-28.6
資金繰り	-17.8	-19.0	-22.2	-19.0	-22.2	-14.3
業況	-31.1	-31.0	-28.9	-21.4	-17.8	-33.3

【経営動向DIの算出方法】

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

※(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が7ポイントのマイナス、資金繰りが1.2ポイントのプラス、業況は前回と同様となっている。

卸小売業・サービス業においては、採算が24.5ポイント、資金繰りが11.1ポイント、業況が9.6ポイントのプラスとなっている。

★前年同期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合が4.7ポイント、売上が19.2ポイントのそれぞれマイナス、仕入単価は22.9ポイント、従業員数が7.9ポイント、採算が1.8ポイントでそれぞれプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、前年同期比では売上が26.3ポイント、仕入単価が8.8ポイント、客数が0.5ポイント、客単価が3.3ポイントのそれぞれマイナス、従業員数が1.5ポイントのプラスとなっている。

★向こう3ヶ月

製造業・建設業においては、向こう3ヶ月では、引合が13.0ポイント、売上が4.0ポイント、仕入単価が8.4ポイント、従業員数は6.3ポイント、採算が8.6ポイントで全ての項目でプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、向こう3ヶ月では売上が20.1ポイント、仕入単価が3.8ポイント、客数が7.8ポイント、客単価が9.2ポイント、従業員数が2.5ポイントの全ての項目でマイナスとなっている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		向こう3ヶ月	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-48.5	-22.2	-51.5	-31.4
仕入単価			-72.7	-63.9	-66.7	-62.9
客数			-39.4	-38.9	-36.4	-28.6
客単価			-6.1	-2.8	-12.1	-2.9
従業員数			-15.2	-16.7	6.1	8.6
採算	-6.1	-30.6	-39.4	-38.9	-42.4	-40.0
資金繰り	-33.3	-44.4	-33.3	-36.1	-30.3	-28.6
業況	-51.5	-61.1	-42.4	-41.7	-42.4	-45.7

■今期直面している経営上の問題点

(業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は回答数)

製造業(59)	建設業(56)	卸小売業(37)	サービス業(54)	全体(206)
1位 仕入単価の上昇(1) 22.4%	仕入単価の上昇(1) 21.2%	需要の停滞(4) 21.4%	仕入単価の上昇(1) 29.1%	仕入単価の上昇(1) 23.3%
2位 経費の増加(4) 14.9%	経費の増加(2) 17.3%	仕入単価の上昇(2) 17.9%	経費の増加(2) 16.4%	経費の増加(3) 14.9%
3位 設備の老朽化(-) 14.9%	従業員の確保難(-) 17.3%	大企業進出による競争激化(-) 14.3%	需要の停滞(3) 10.9%	従業員の確保難(4) 12.9%
4位 従業員の確保難(2) 13.4%	需要の停滞(5) 11.5%	人件費の増加(-) 10.7%	消費者ニーズの変化(5) 9.1%	需要の停滞(2) 11.9%
5位 人件費の増加(5) 10.4%	設備の老朽化(3) 5.8%	従業員の確保難(3) 10.7%	設備の老朽化(4) 9.1%	設備の老朽化(5) 9.4%

今期直面している経営上の問題点としては、業種による順位の違いはあるものの全体の順位としては前回同様「仕入単価の上昇」が1位にあげられており、「経費の増加」が2位、「従業員の確保難」が3位となった。引き続きコストアップを課題にあげる経営者が多い。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和5年7月～9月の状況について、令和5年10月に調査する予定です。商工会の経営支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。